

Title	昭和八年度三田史學研究會例會報告；昭和九年度慶應義塾大學文學部史學科卒業生提出論文
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1934
Jtitle	史学 Vol.13, No.1 (1934. 4) ,p.164- 165
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19340400-0164

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

彙 報

昭和八年度三田史學研究會 例會報告

昭和八年度三田史學研究會に於ける講演者及びその演題を列舉せば左の如し。

昭和八年
五月二十五日(木) 午後三時於萬來會洋間(第二百二十八回例會)

天明時代に於ける蘭學と朽木昌綱 鹽見繁行君
カロンの記事に見えたる大名の氏名住所石高につきて

六月八日(木) 午後二時半於萬來會洋間(第二百二十九回例會)

古文書、書籍の簡易複寫法の紹介 高山定雄君
古代言語と文字の關係 井上芳郎氏

六月二十二日(木) 午後三時於萬來會洋間(第二百三十回例會)

「語録」より見たる一絲和尚 西原俊二君
マルヌの大會戦に就て 石丸優三氏

九月廿八日(木) 午後三時於萬來會洋間(第二百三十一回例會)

今宮新氏歸朝歡迎會開催
日本石器時代陸産食料―特に狩獵による食料―

プロシヤ古文書館に就て

十月二十六日(木) 午後三時於萬來會洋間(第二百三十二回例會)

徳川中期飢饉時一般救恤法

七月王制頭初の政治

印度支那旅行談

十一月十六日(木) 午後三時於萬來會洋間(第二百三十三回例會)

「宇佐の託宣」に就いて

范欽と天一閣藏書

歴史上の豫言に就て

十一月三十日(木) 午後三時於萬來會洋間(第二百三十四回例會)

フンボルトの「歴史記述家の任務に就いて」に就いて

「香祖筆記」を讀みて

昭和九年

一月二十六日(木) 午後三時半於交詢社會議室(第二百三十五回例會)

支那歸朝談

「セルヴィウス・トリウスのコミティア、ケンツリアタに就いて」

中丸平一郎氏

森 馨 氏

大給 尹君
今宮 新氏

遠藤 和佳君

恒松 安夫氏

松本 信廣氏

田野 直吉君

宮島 貞亮氏

占部 百太郎氏

浅子 勝二郎氏

高橋 琢二氏

昭和九年度慶應義塾大學文學部史學科
卒業生提出論文

一、日本石器時代に於ける狩獵の研究

大給 尹君

一、足利時代に於ける日鮮關係

遠藤 和佳君

一、安南に於ける日本町に就いて

横田 實君

一、イザイカ・チチングの日本研究と日本に於ける

以上の卒業論文披露會を兼ね第二百三十六、七回例會を二月十五日午後二時より交詢社三號室及び二月二十二日午後二時より日比谷山水樓に於て二回にわけて催し盛會なりき。

交友に就いて

鹽見 繁行君

一、安政の開國當時に於ける幕府と水戸

寺田 進君

の關係

一、紫外線及び赤外線に依る古文書鑑定

高山 定雄君

の研究

東洋史學科

一、楚辭天問篇に就いて

樋口 吉之助君

一、元代支那基督教徒の研究

佐藤 龍兒君

一、宮廷詩としての辭賦と其の文學倫理

明石 貞吉君

の變轉の理由

西洋史學科

一、エジプト第十二王朝に就いて

片本 恒雄君

一、古代イオニア十二都市の經濟的發展

穴原 榮三郎君

と東方勢力との關係に就いて

藤田 寅一君

一、スペイン女王玉イサベラ婚姻問題の進展より觀たる英佛間の外交關係